

吉賀中だより

令和6年12月24日
吉賀町立吉賀中学校
(文責：城市)

令和6年度 学校教育目標

「自他を大切にし、共に自らの可能性を広げる生徒の育成」

令和6年(2024年)がいよいよ終わりを迎えようとしています。今年は、パリオリンピック、パラリンピックでの日本人選手の大活躍や大社高校野球部の甲子園での躍進など、スポーツ面で明るい話題がたくさんありました。

一方で、元旦に起きた能登半島地震、さらに8ヶ月後の能登半島豪雨など、大災害も起こりました。とりわけ能登半島では、復興をめざす能登の人々の心が折れるかのような大災害が続きました。そのような中であっても、たくさんの方々の支援やボランティアと共に能登の地でふるさとの復興をめざし頑張っている人々には、決して繰り返したくない一年であったことと思います。先日放送されたNHKのプロジェクトXは、その僅か一部分の記録でしかありませんが、観ているうちに涙が溢れてきました。能登の方々、私たちがこの一年頑張ってきたことの何万倍もの苦勞と努力を繰り返し、今年の終わりを迎えようとしています。番組の最後に当事者の方々が「つながり」を口にされていました。耐えがたい苦境の中であっても、互いに支え合いながら培われた「つながり」は、何よりのエネルギーと光をもたらしてくれています。本校の学校教育目標「自他を大切にし、共に自らの可能性を広げる生徒の育成」の具体的な姿が、能登の人々の姿や魂、そして笑顔に重なって見えました。

生徒の皆さんにとって、この一年は振り返ってみるとどんな思いに包まれますか？皆さんは、それぞれに様々な活動に精一杯に取り組み頑張りたい皆さんの活躍をして、周囲にたくさんの感動を与えてくれました。うまく出来たこと、思い描いたようには出来なかったことなど自分の思いには様々なことがあると思いますが、どれもその一つ一つが意味のあることや大切な経験として、これからの糧になっていきます。一年の終わりにあたり今年の足跡を振り返り、来年への意欲につなげて欲しいと思います。

保護者、地域の皆様には、本校教育活動に対しご協力・ご支援をいただき、今年一年本当にありがとうございました。慌ただしい毎日でしたが、無事に令和6年をまもなく終えることができますこと、心よりお礼申しあげます。そして、どうぞ令和7年もよろしくお願ひいたします。

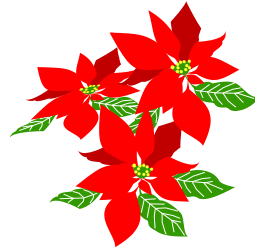
生徒会役員選挙を行いました

本校の生徒会役員の任期は1月から12月としています。そのため、現生徒会の役員の任期は今学期末で終わります。現役員の皆さんは、学校全体を盛り上げていくために執行部が一つとなり様々な活動を生懸命進めてくれました。本当にお疲れ様でした。

新たな生徒会役員については、生徒会長選挙を12月16日(月)に行いました。立候補者や推薦者は、立会演説会やあいさつ運動等を通し、候補者それぞれが吉賀中学校生徒会への思いや考えを熱くしっかりと述べ、全校生徒一人一人が真剣に来年度の生徒会活動を考え投票に望みました。開票の結果、
さん(年)が新たな生徒会長に選ばれました。令和7年の生徒会の活動や活躍を楽しみにしています。なお、今後、新生徒会長を中心として新たな生徒会執行部づくりを進めていきます。

めざす生徒像

- 誠実な生徒 **【誠実】**
- 自ら行動できる生徒 **【自主】**
- 新たな表現のできる生徒 **【創造】**
- 学び合い高め合う生徒 **【連帯】**



表彰が相次ぎました

先月号で紹介しましたが「全国中学生人権作文コンテスト島根県大会」、「社会を明るくする運動作文コンクール」で受賞をしました。この2つの表彰式を、先般校長室で開催しました。それぞれ、松江地方法務局益田支局、益田地区保護司会よりご来校くださり、受賞した
さん(年生)、
さん(年生)に直接表彰をしていただきました。2人ともとても緊張した面持ちで写真撮影にもガチガチでした(笑顔になってもらうのに苦勞しました)。場所は学校とはいえ直接に賞状を渡していただけるという光栄は度々経験できることではありませんので、きっと気の引き締まる思いであったと思います。

さんの作文は、12月4日付で山陰中央新報に掲載されましたのでお読みになった方も多と思います(12月2日付は誤りでした、申し訳ありません)。お電話や直接私に「読みましたよ!」「素晴らしい作文ですね」「素敵な生徒さんがおられますね」と数多くの賞賛をいただきました。中には直接生徒本人に伝えたいと申し出て来られる方もおられましたが、丁寧に断りをさせていただきました。

この2人の作文は、書いた本人たちが自分自身の経験を元にした考えや学びをまとめたものですが、その考えを深めたり学びを進めたりすることができたのは、ご家族と彼女たちの周囲にいる本校生徒たちの影響が大きいと思っています。ですので、この受賞を全校で喜び合い感謝し合い称え合いたいと思います。ありがとうございました。

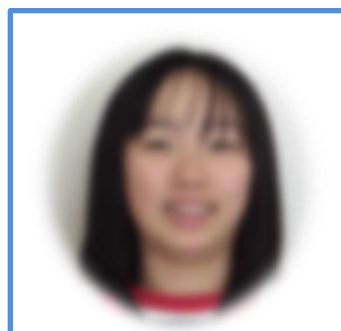
ふれあい郷土料理教室を行いました

11月29日(金)に3年生を対象に「ふれあい郷土料理教室」を行いました。当日は食生活改善推進員さん13名の方を講師としてお迎えし、役場、公民館の方も一緒になり、郷土料理の調理を通して、ふるさとの味を知り吉賀町への愛着を高めたり、食への関心を高めたりすることができました。

実は、特に見た目も美しくきれいに出来上がった押し寿司は、密かに味見をねらっていました。幸いにも大量に残っていたので、給食を食べた後でしたが3つもいただきました!子どもの頃から食べ馴染んでいる味は、ホッと懐かしさを感じられてとてもおいしくいただきました(ごちそうさまでした)。

角寿司は初めて作ったのでとても楽しかったです。角寿司を作るための道具があることを知って驚きました。乱切りのやり方を知らなかったけれど、今回知ることができて良かったです。いただいたレシピを見ながら家でも作ろうと思います。

普段、こういう料理を作ることがないので、とても楽しかったです。さらに、地域の方とも交流を深めることができて良かったです。家で作る機会がありそうだったらやってみようと思います。



【新生徒会長】

さん(年)

生徒みんなで明るく楽しい吉賀中学校・生徒会活動にしていきたいと思っています。よろしくお願ひします。

学校保健委員会（11/27）

11月27日（水）に学校保健委員会を開きました。今年度の学校保健委員会は、今年4月から「よしか病院」にご勤務なさっておられる佐々木弥生 Dr. をお迎えしての講演会です。「UPDATE FIRST AID」というテーマで、けがをした時などの救急時に自分でできる応急手当について学び、今後の生活で活用する力をつけることをねらいとしました。



佐々木 Dr. は、所々にクスツとするようなお話や、考えたり相談し合えるような場面を取り入れたりくださり、生徒は皆真剣に時には笑顔になりお話を聞きました。学んだ応急手当の方法などは使う機会がないのが一番ですが、もしもの時に緊急的にすぐに役立つことのできる方法ばかりでしたので、しっかり覚えておいて欲しいと思います。

また、佐々木 Dr. は本校の卒業生で中学生や学生時代のことも織り交ぜてお話しになりました。中学校の先輩である医師の話聞くことで、生徒は自らの将来について考える上で大切なことやこれからの中学校生活について考える大事なヒントを得ることができ、とても良い学びの機会になったようです。今後の生活に活かして欲しいと思います。

当日はご多用の中、多くの保護者の皆さんにもご参加いただきました。ありがとうございました。



心が変われば行動が変わる。行動が変われば習慣が変わる。習慣が変われば人格が変わる。人格が変われば運命が変わる。

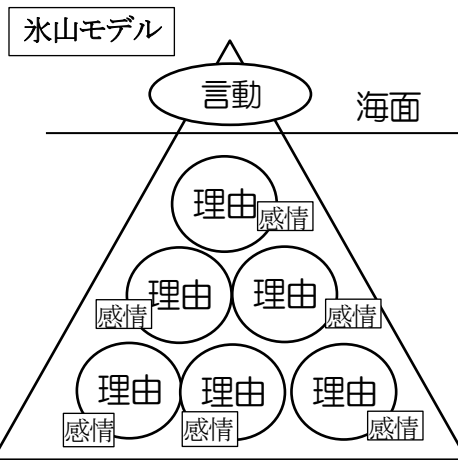
これはアメリカの心理学者ウィリアム・ジェームズの名言の一つとされています。心の有り様により行動が変わりひいては運命すら変わるということですから、心の有り様や行動というのは大切なものなんですね。

「人の言動（言葉や行動）には、必ず理由がある」。

これは、カウンセラーの西君子さんという方の言葉ですが、西さんは右図のような氷山をモデルに語られています。

海に浮かぶ氷山は、その約90%以上が海面下にあり海面上からはほとんどの部分が見えません。海面上に現れている見える氷の一部分を「人の言動」と例えると、実は海面下にその言動を起こした目に見えない「理由」があるということです。しかもその理由は、1つの言動に対して1つではなく、実はたくさんあるということです。（以前実際に教員対象の研修で実験したところ、本当にいくつもの理由がありました）

そして更に、その理由一つ一つには「感情」が隠れています。西さんは、「相手の話を聞く時には、行動を起こしたいいくつもの理由と一緒に、感情をしっかりと聞くことが大切です。」とお



っしゃっています。人は相手に理由を聞いてもらうだけでなくその理由に隠れている感情を聞いてもらえると、相手の人に「聴いてもらえた」という安心感が生まれ、聞き手に対する信頼感も生まれてくると言われています。そういう状態になった時、「聞く」は「聴く」に変わり、話し手は自らが問題の解決に向かっていこうとする「心のエネルギー」や「意欲」、「勇気」が湧いてきます。「共感」という言葉で表される信頼関係に満ちた好ましい人間関係の上で自立心や向上心が芽生えてくるわけです。

「聞く」と「聴く」。たった一文字の違いですし簡単そうなのですが、私はなかなかできません。ついつい「感情」よりも「行動」や「現象」に視点が向き、起こった「事実」や「事柄」を聞いてしまい反応してしまいます。特に肉親に対しては難しいですね（主に妻にですが）。私の方が感情的になってしまいます。まだまだ修行が足りないということだと反省の毎日です。

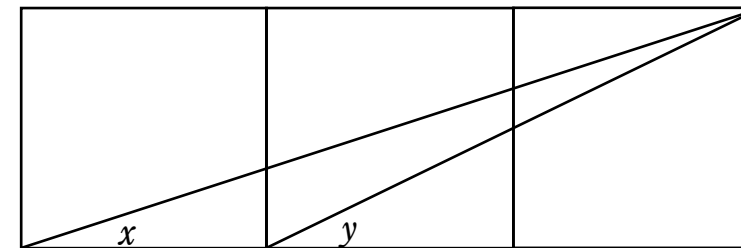
突然ですが 数学の問題です

よく生徒から「校長先生は何の教科の先生ですか？」と聞かれていました。「数学ですよ」と答えると納得してくれる生徒もいますが、時々「えーっ！」と驚かれることもありましたが（最近減りましたが）。ですので、数学の教員らしいところをたまには見せなくてはと思い、突然ですが数学の問題を掲載します。お時間のあるときに考えてみてください。

ちなみにこの問題は、かつて京都大学で入試に出題された問題の一つです。ご存じの方もいるかも知れません。（この時期ならば小学4年生以上でも解ける人がいます。）

【問題】

次の図は、正方形を3つ並べたものです。図のような対角線を引いたときにできる角をそれぞれ $\angle x$ 、 $\angle y$ とします。このとき、 $\angle x + \angle y$ の大きさを求めなさい。



***数学の先生にきいてはいけません！**

どう考えると良いのかは新入生入学説明会で話します。こんな考え方はどう？という人は、遠慮なく校長室へお出てください。

1月・2月の主な行事予定

【1月】

- 8日（水） 3学期始業式
- 9日（木） 町中学校統一テスト
- 16日（木） SC来校日
- 17日（金） 租税教室（3年生）
- 21日（火） 金融教育教室
- 22日（水） 公立高校特色選抜検査
- 29日（水） 授業公開日（終日）
- 31日（金） やくろ学級校外学習

【2月】

- 4日（火） R7年度新入生説明会
- 14日（金） 郡育成会卒進会
- 17日（月）～18日（火） 3年生3学期末テスト
- 20日（木） SC来校日
- 25日（火）～26日（水） 1・2年生3学期期末テスト
- 27日（木） 授業公開日（終日）

来年もよろしくお願いたします。